



トップ 東北ニュース 記事

宮城のニュース

宮城 政治・行政

ツイート いいね! 48

<富谷市誕生> 無線で世界へ「こんにちは」

宮城県富谷町は10日午前0時に富谷市へ移行した。新市誕生を記念し、移動臨時局を開設している日本アマチュア無線連盟県支部（佐藤雄孝会長、約1400人）の会員も「世界の仲間へ『ありがとう富谷町、こんにちは富谷市』のメッセージを発信する」と張り切る。

記念局は9月17日、町役場1階の町民交流ホールに開設された。11月6日までの開設期間中、主に週末にメンバーが機材を持ち寄って世界中と交信。開設日以外も、富谷在住のメンバーが交代で交信を担当する。

コールサインは「8N7T/7」。8Nは日本、7は東北、Tは富谷、/7は東北管内の移動局を意味するという。既にアメリカやロシア、韓国、台湾など10の国と地域、延べ2000を超える交信を記録した。

交信相手には連盟経由で交信証明書のQSLカードが発行され、交信を呼び掛けると希望が殺到する人気ぶりだ。会員の会社員千田善文さん（54）＝富谷市＝は「QSLカードは国内外に収集家が多数いる。期間限定の臨時局で、しかも新市とあって希少価値が極めて高い」と話す。

町内には、モールス信号を発信する装置「電鍵」のメーカー「GHDキー」の本社が所在する。同社製品が広く国内外のアマ無線家に知られ、富谷が「アマ無線の聖地」と称されていることも人気を後押ししているという。



役場に持ち込んだ機材でハム仲間と交信する員

拡大写真